公益財団法人 旭硝子財団

２０２６年（第２回）
「ブループラネット次世代探究プログラム」
応募要項

1. 目的

旭硝子財団は、1992年に地球環境国際賞として「ブループラネット賞」を創設し、地球環境問題の解決に向けて顕著な貢献をされた個人や組織を顕彰してきました。また、『地球環境問題と人類の存続に関するアンケート』を毎年実施し、広く社会に発信しています。

本事業「ブループラネット次世代探究プログラム」（以下、探究プログラム）は、ブループラネット賞の受賞業績をテーマとした若い世代の探究学習活動を奨励するために、旭硝子財団が説明、議論、サポートを行う人員を派遣し、双方向コミュニケーションを実施するものです。これによって、探究学習グループの調査、研究、学習の範囲を拡大し、若い世代の地球環境問題への理解を深めることを目的とします。

2. 旭硝子財団の支援内容

本事業では、地球環境問題に関する探究学習活動を広く募集します。実施団体が提案する企画に対して、旭硝子財団は専門家を派遣し、双方向コミュニケーションを重視した学習機会を提供します。

3. 探究プログラムの様式

以下は例示であり、組み合わせも含めた多様な様式での実施が可能です。本プログラムは、新たな企画に限らず、学校や団体で既に実施している探究授業・活動や研究発表会等でも応募可能です。

（1）探究伴走プロジェクト

一定期間にわたり複数回の助言・講評を行い、研究活動の企画・実施・発表を継続的に支援

（2）セミナー

研究発表会等において講評や助言を実施

（3）講座・講演

専門家による、双方向のコミュニケーションを重視した講座（複数回も可）・講演および質疑応答

・実施期間は最長3年間とします。

・参加者が探究学習活動としてブループラネット賞受賞者の業績に関する調査・研究を行い、その成果を報告書等として取りまとめた場合には、内容に応じて関連する受賞者にコメントを依頼することがあり、コメントが寄せられた場合には作成者に共有します。

4. 応募要件

以下のいずれかに該当する団体

- 日本国内の高等学校、高等専門学校、大学等の教育機関
- 上記教育機関に付属する団体
- 上記教育機関が主催する会合
- 上記教育機関の生徒や学生が主催する学外活動グループ

※付随する場合は小中学生や一般の参加も可能です。
※応募にあたり責任者の承認を得てください。

5. 対象分野

過去のブループラネット賞受賞業績（気候変動、生態系、生物多様性、人口、資源・エネルギー、地球大気、環境経済、環境教育など）に関連するテーマを推奨します。

受賞者の業績をキーワードで検索できるページがあります。

https://www.blueplanetprize.org/projects/projectslist.html

6. 採択数

数件程度の予定です。

7. 応募方法

受付期間中、下記の当財団ウェブサイトより応募ページへアクセスし、お申し込みください。

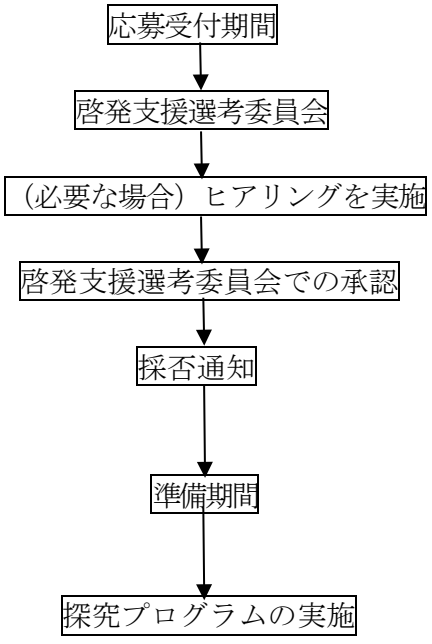
https://www.af-info.or.jp/keihatsu/about.html

応募ページでメールアドレスを登録し、送信される応募用URLから申込フォームに必要事項をご入力ください。

※ 申込フォームにご入力いただいた情報は当財団において管理し、探究プログラム関連の目的以外には使用いたしません。

応募受付期間 2026年10月15日～2026年11月15日

8. 選考日程と採否通知



2026年10月15日～2026年11月15日

2026年12月下旬に全申請者に採否を通知します
※個別のご照会には回答いたしかねますので、ご了承ください

2027年1月以降
※採用決定後に具体的な実施方法や支援内容を協議します

2027年4月以降

9. 選考のポイント

提出された地球環境問題に関する企画について、以下の観点から総合的に選考します。

・参加者が地球環境問題の解決に向けて自主的に取り組むことを促す魅力的な内容になっているか
・目的を達成するために様式が適切か
・参加者以外の人も興味や関心を持てるような内容になっているか
・「探究学習グループの調査、研究、学習の範囲を拡大し、若い世代の地球環境問題への理解を深めること」の目的に合致しているか

10. 探究プログラムの内容の掲載について

採択された場合は、採択団体名・企画名・開催概要のほか、探究プログラムの様子や内容については、旭硝子財団ウェブサイト、財団刊行物や外部メディアに掲載する場合があります。また、実施団体が財団名を使用してウェブサイトやメディアに掲載される場合は、財団の事前承認が必要です。なお、旭硝子財団ウェブサイトの活動記録 https://af-info.or.jp/keihatsu/event/ は、実施団体による報告書（旭硝子財団のフォーマット）をもとに掲載します。

11. 旭硝子財団への事前相談

応募にあたり不明点やご相談がありましたら、keihatsu@af-info.or.jp までご連絡をお願いします。

12. 個人情報の取り扱い

本事業以外の目的には使用しません。

13. ご参考

＜啓発支援選考委員＞

江守 正多*	東京大学未来ビジョン研究センター教授
橋本 禅	東京大学大学院農学生命科学研究科教授
町田 智子	公益財団法人文字・活字文化推進機構専務理事

*啓発支援選考委員長

旭硝子財団について

目的 旭硝子財団は、次の時代を拓くための研究等への助成、次の時代を担う優れた人材への奨学助成、地球環境問題の解決に大きく貢献した個人や団体に対する顕彰などを通じて、人類が真の豊かさを享受できる社会および文明の創造に寄与します。

沿革 旭硝子財団は、旭硝子株式会社（現 ＡＧＣ株式会社）創業 25 周年を記念して、その翌年の 1933 年(昭和 8 年)に旭化学工業奨励会として設立されました。発足以来、戦後の混乱期を除いて、応用化学分野の研究に対する助成を継続しました。その後、1990 年に新しい時代の要請に応える財団を目指して事業内容を全面的に見直し、助成対象分野の拡大と顕彰事業の新設を行うとともに財団の名称を旭硝子財団に改めました。2018 年（平成30 年）に公益財団法人 旭硝子奨学会を合併し、現在は研究助成事業、奨学事業、顕彰事業、啓発支援事業を4 本の柱とする活動を行っています。

研究助成事業 次世代社会の基盤を構築するような化学・生命分野、物理・情報分野の独創的な研究、および社会の重要課題の解決に指針を与えるような建築・都市分野、人文･社会科学分野、環境フィールド研究分野の研究を助成します。国内の大学だけでなく、チュラロンコン大学（タイ）、キングモンクット工科大学トンブリ校（同）、バンドン工科大学（インドネシア）およびハノイ工科大学（ベトナム）に対しても、研究助成を行っています。

奨学事業 奨学プログラムは、1957 年（昭和32 年）に設立された公益財団法人 旭硝子奨学会の事業として始まりました。以来、経済的な援助を必要とする優れた日本人学生に対して奨学金を給付し、1990 年からは外国人留学生にも対象を拡げています。2018 年より、奨学事業は旭硝子財団に移管されました。2022 年度には、外国人留学生の採用対象国を従来のタイ、インドネシア、中国、韓国にベトナムが加わりました。旭硝子財団の奨学事業として、持続可能な社会および文明の創造に寄与する人材の育成に取り組んでいきます。

顕彰事業 「ブループラネット賞」は、地球環境問題の解決に向けて大きく貢献した個人や組織に対して感謝を捧げると共に、多くの人々がそれぞれの立場で環境問題の解決に参加されることを願って創設されました。国内外の推薦人に候補者の推薦を依頼し、その中から毎年原則として 2 件を選定します。受賞者にはそれぞれ賞状･トロフィーならびに賞金50 万米ドルが贈呈されます。

啓発支援事業 地球の未来を担う若い世代を含む人々が地球環境問題をより深く理解することを助け、この問題の解決に向けて具体的に取り組むことを支援するために、専門家による講演、学校での自由研究のサポートなどの活動を行っています。

公益財団法人 旭硝子財団

https://www.af-info.or.jp

〒102-0081 東京都千代田区四番町5-3 サイエンスプラザ2F
TEL (03) 5275-0620　FAX (03) 5275-0871
E-mail: post@af-info.or.jp